

## 令和7年度 河川水辺の国勢調査[河川版] 調査結果データ作成の留意点

**1. 使用する入出力システムについて**

- ・ Web版の令和7年度調査結果入力用の新入出力システムを用いて作成してください。
- ・ <https://mizukokuinfo.z11.web.core.windows.net/ksnkankyo/mizukokuweb/system/system.htm>

**2. 入出力システムの「調査年度」について****【1つの業務で契約年度と完了年度が異なる場合】**

- ・ 「調査年度」は河川水辺の国勢調査の現地調査を主に実施した時期が該当する年度としてください。  
例1：A年度1月に契約し、A年度3月に早春調査、翌B年度に春、夏、秋調査を実施した場合。  
「調査年度」はB年度。  
例2：A年度4月に契約し、A年度に春、夏、秋調査を実施し、翌B年度4月に早春調査を実施した場合。「調査年度」はA年度。  
※判断が難しい場合は必要に応じてヘルプデスク ([kokucho@rfc.or.jp](mailto:kokucho@rfc.or.jp)) に問い合わせをお願いします。

**【1つの調査が複数年度の業務に分かれている場合】**

- ・ 完了年度の業務において、複数年度の全調査内容を反映した調査結果データを作成してください。その際の「調査年度」は開始年度としてください。  
例：河川環境基図作成調査を1年目（A年度）業務で水域を実施し、2年目（B年度）業務で陸域調査を実施した場合。B年度に水域と陸域を合わせた調査結果データを作成。「調査年度」はA年度。

**3. 写真の整理について**

- ・ 写真票の調査結果入力に際しては、マニュアルに基づき「撮影年月日」を必ず入力してください。
- ・ 標本写真等、調査年月日と撮影年月日が異なる場合は、「写真の説明」に調査実施日を記載してください。

**4. 調査地区位置図について**

- ・ 業務報告書と入出力システムに登録した内容は、相違が無いようにしてください。
- ・ 例年、現地調査様式の調査地区位置図と業務報告書内の調査地区位置図で情報に相違がある事例が見られます。

**5. 種等まで同定できなかった場合の理由の記載について**

- ・ 種等まで同定できなかった場合は、マニュアルに基づき、種等まで同定できなかった全データについて、調査結果データの調査結果の「備考」に理由を記載してください。
- ・ 対象の分類群は、魚類（河川II-37・ダムIII-37）、底生動物（河川III-38・ダムIV-40）、植物（河川IV-11・ダムVI-11）、両生類・爬虫類・哺乳類（河川VI-18・ダムVIII-19）、陸上昆虫類等（河川VII-15）となります。（カッコ内はマニュアルの該当頁）

## 令和7年度 河川水辺の国勢調査[河川版] 調査結果データ作成の留意点

## 6. 河川環境基図作成調査について

- 河川環境基図作成調査では、下記の点を確認した上で調査結果データの提出をお願いします。

## 【河川環境基図作成調査の調査結果データの確認事項】

No.	様式ファイル名	確認事項
1	現地調査様式 2 植生図凡例	未掲載群落の群落名、群落表示コードが正しく反映されているか（植生図と一致しているか）
2	整理様式 5 1km ピッチ植生面積集計一覧表	群落名毎の合計面積が報告書の値と整合がとれているか
3	整理様式 6 区間別植生面積変動状況一覧表	今回調査及び前回調査について、未掲載群落の群落名、群落表示コードが正しく反映されているか

## 7. GIS データの座標系について

- 三次元河川管内図と整合をとるため、**WGS84** ないし **JGD2011（緯度経度）** を用いてください。

## 8. 河川環境基図作成調査の GIS データの作成について

- 令和7年度の入出力システムより、GIS データの形式として **GeoJSON** 形式が採用され、独自形式（いわゆる基盤地図フォーマット）での GIS データの作成が不要となりました。GeoJSON 形式で作成する GIS データでは、標準地域メッシュ二次メッシュごとにデータ分割する必要が無く、1レイヤ1ファイルとして作成する仕様となります。
- GIS データの不備（位置ズレ、ポリゴンの欠損等）防止の観点から、外部 GIS ソフトで作成した GIS データを本システムに取り込んで納品される場合にも、必ず一度 GIS エディタ画面を開き、背景地図と重ね合わせて GIS データ各レイヤの内容確認をお願いいたします。
- GIS エディタでの表示において全範囲について欠損等がない状態としたものを提出してください。

(以上)